

分野	統合分野 在宅看護論	科目	在宅看護論方法論Ⅲ		
必修・選択	必修	単位(時間)	1単位 (30時間)	開講時期	3年前期
講師名	栗生 美帆	所属および実務経験	専任教員 / 医療機関において看護師として勤務		
【授業概要】 在宅における特徴的な事例から、法制度の活用や多職種との連携・協働、療養者や家族に対する指導技術を含めた看護展開をすることで、在宅療養者の看護に必要な知識・技術の統合力を身につける。					
【到達目標】 1. 在宅看護における看護過程の特徴を述べることができる。 2. 健康問題の解決だけでなく、対象の強み・弱みや予防できるリスクに着眼した看護計画を立案することができる。 3. 看護過程を展開することで、療養者や家族を地域で生活する人として総合的に理解し、社会資源の活用、多職種連携を含めた対象者中心の看護を考えることができる。 4. 療養者や家族への指導方法について述べるができる。 5. 個人ワークやグループワークを通して主体的に学習し、自己の考えを表出できる。					
回数	授業内容				授業方法
1	COPD の在宅療養者の事例				講義
2	仮診断、関連図、全体像、看護計画				
3	(在宅看護過程の特徴、計画立案の視点、社会資源などの活用、多職種連携などの考え方)				
4	ALS の在宅療養者の事例				講義 GW
5	仮診断、関連図、全体像、看護計画、発表、まとめ				
6					
7					講義 GW
8	小児の療養者の事例				
9	仮診断、関連図、全体像、看護計画、発表、まとめ				
10					講義 GW
11					
12					
13	終末期療養者の事例				講義 GW
14	仮診断、関連図、全体像、看護計画、発表、まとめ				
15					
	学習のまとめ 終了試験				
【準備学習】 事前に、別途用紙を配布し説明します。					
【教科書】 臺有桂他 ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 2020 臺有桂他 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 2020					
【参考書】 安藤雄一他監修 公衆衛生がみえる メディックメディア 2020-2021 その他関連する教科書など					
【成績評価】 グループ評価 30%、終了試験 70%の結果で評価。レポートは評価基準参照。					
【備考】					

スケジュールの詳細、評価基準については別途用紙を配布します。